

# 防災・安全ニュース

VOL. 5

危機管理課

2023年9月号

内線65-1282

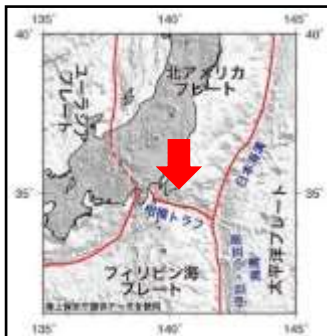
先月は、台風第6号の接近によって高知県から新居浜市にかけて線状降水帯が発生したため、本市に土砂災害警戒情報が発表され、避難指示を発令しました。幸運にも、その後の台風第7号と同様に本市への大きな影響はなかったものの、他の市町では大きな爪痕を残す結果となりました。このような災害の被害が、いつ自分の身に降りかかってもおかしくないという意識を持って、自分自身で各種の防災情報を入手する方法を確立し、早めの避難に役立てていただきたいと思います。

では、今月号もよろしくお付き合いください。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・ 関東大震災から100年
- ・ 秋の全国交通安全運動
- ・ 台風の日

## 今年は関東大震災から100年

9月1日は、「防災の日」です。これは、大正12年（1923年）9月1日11時58分に発生した関東大震災が由来です。この震災での人的被害は、能登半島付近にあった台風へ吹き込む強風が吹く中、昼食の時間と重なり多数の火災が発生して大規模な延焼火災となったことから、死者・行方不明者約10万5千人のうち約9割の方が焼死されました。



また、この地震は、直下型地震（断層型地震）だったとされている方もいらっしゃると思いますが、実は相模トラフによる海溝型地震でした（左図参照）。このため、三浦半島から伊豆半島東岸に数m以上の津波が押し寄せ、熱海では12mの津波が襲来したそうです。

関東大震災から100年の節目に当たって次のとおり特設サイトが設けられていますので、ご家族で災害について考える一助としてご活用頂ければ幸いです。

内閣府 → <https://www.bousai.go.jp/kantoul00/index.html>

気象庁 → [https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/1923\\_09\\_01\\_kantoujishin/gaiyo.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/1923_09_01_kantoujishin/gaiyo.html)

### 秋の全国交通安全運動

9月21日から30日の10日間は、秋の全国交通安全運動期間（9月30日：交通事故死ゼロを目指す日）です。全国重点は、次の3点です。



- 1 こどもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
- 2 夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び飲酒運転等の根絶
- 3 自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

運動期間中は、車の運転において、いつも以上に「思いやり」と「ゆずり合い」の精神を心がけて習慣化していただければと思います。

また、新居浜市の今日の日没時刻は1日で18:33、30日では17:53と、仕事から自宅へ帰る時刻が夕暮れどきとなってきますので、車のライトの早めの点灯と、歩行者等は車から見つけてもらう工夫をお願いします。

### 台風が目ができる仕組み

北半球の台風では、反時計回りの強い風が中心に向かって吹き込んでいます。車に乗っていて速い速度でカーブを曲がる時に、曲がる方向の外側へ体が引っ張られる経験をしたことがあると思いますが、この強い風にも台風の外側へ引っ張られる力（遠心力）が働いていて、台風の中心に風が吹き込むことができなくなって、台風が目ができます。



一般的に目の直径は20kmから200kmといわれていて、平均すると40～50kmくらいとされています。何となく目が大きい方が強い台風のように感じ勝ちですが、小さくてはっきりとした目の方が勢力の強い台風ですので、より注意が必要です。

### 【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

今月号の気象に関するトピックでは、台風の目を取り上げましたが、私の応援しているプロ野球の某チームが8月には10連勝を果たして首位を走っていて、別の意味で台風の間となっています。このまま、18年ぶりのリーグ優勝を果たしてくれることを祈っている昨今です。

(N.O)